

教育



ECOの取り組み

地球の反対側で 何が起きている？ 鉱山に見る 自然破壊の深刻さ



日本ベンジャミン人間性
英才学校は1月27日、公開メン
ター講義を行いました。講師は
南米ボリビアの学者ロサリオ・
ミランダ・ロマイさん。ベン
ジャミン生のためのメンター
講義ですが、今回は特別に一般
社団法人ECO賛助会員にも
公開し、Zoomによるオンラ
イン形式で開講しました。

テーマは「自然との共生に
向けて、地球の反対側で起こっ
ていることを学ぼう」。世界
有数の鉱山の町ポトシ周辺で

月刊 Earth Citizens 地球市民



2023
3月号

500年間続いている環境汚
染や児童労働の問題について
語っていただきました。

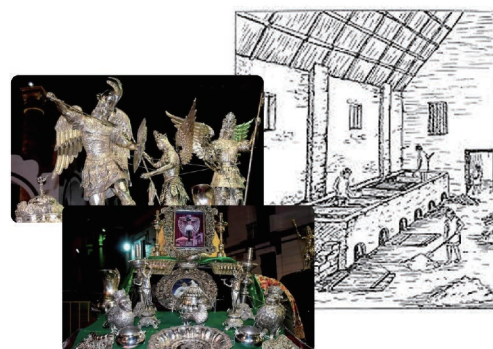
「鉱業の町」ポトシ



ロサリオ・ミランダ・ロマイさん

講師のロサリオ・ミランダ・

ロマイさんは、ボリビア南部の
都市ポトシにあるトマス・フ
リアス自治大学で、土木建設
学科の教授をしています。ポト
シは、アンデス高地の標高約
4000m地点にあり、人が
住む都市としては世界で最も
標高が高い都市の一つとして
知られています。「鉱業の町」
としても有名です。



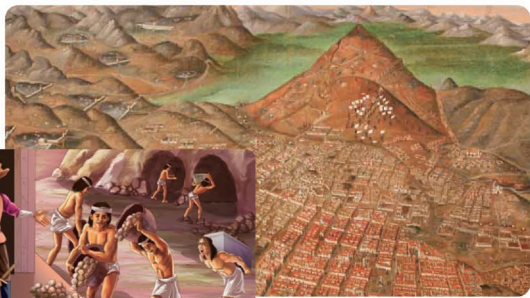
ポトシでは、スペインが入植
した16世紀以降、鉱山から大量
の銀が産出されました。スぺ
イン人たちは先住民を過酷な
労働に追い立て、大量の銀を
手にしました。ポトシで掘られ
た銀は銀貨に鑄造され、船で
欧州に運ばれ、スペイン黄金
時代の源泉となりました。

「美しい山」から 「人食い山」に

インカの時代から先住民
(インディヘナ)は、ポトシの山
をケチュア語で「美しい山
(スマッ・オルコ)」と呼んでい
ましたが、入植したスペイン人
は、「富める山(セロ・リコ)」と
名付けました。

やがて地元の人たちは「人食い山」と呼ぶようになります。先住民や、アフリカ大陸から連れて来られた奴隷たちが、この山で数百万人も死んだからです。入植以降、約800万人の先住民と奴隷が過酷な労働で死亡したとの記録もあります。

ボリビアは現在、南米の最貧国です。ポトシの鉱山一体は1987年に世界遺産に登録されましたが、宗主国の「打ち出の小槌(こづち)」となった鉱山は、「負の歴史」の象徴ともいえます。

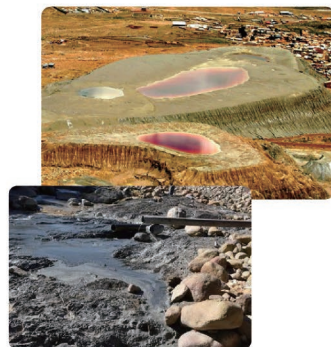


深刻な環境汚染と健康被害

ポトシでは、今でも鉱山で大勢の人たちが働いています。ロマイ先生はメンター講義で、鉱山を発端とする健康被害が深刻だと教えてくださいました。コロナ禍前の2018年、2019年は川で泳ぐことができていたのに、昨年行ってみたら、有害な物質が流れていたそうです。

「毒性のある液体は、鉱物を採っている会社が流したものです。普段はため池に貯めておくのだけれども、雨が降ると溢れて流出する。会社側は責任感がなく、汚染が進んでしまっています」

「流れる水に鉛などが含まれているので、土地が荒れてしまいます。土壌だけでなく、細かい粉塵が空気中に漂い、それが肺に入る。地域住民は肺がんが多かったり、胃がんが多かったりするんです」などと、生々しい現実を語りました。



「川はずっと下に向かって流れていきますから、下流の広い地域を汚染してしまう。ブドウが採れてワインを作る地域もあったけど、全部ダメになってしまいました」

児童が鉱山で働く

同時に深刻なのが児童労働の問題です。国連児童基金(ユニセフ)などによると、ボリビアでは児童労働が横行しており、とくに劣悪な環境にある鉱山での強制労働が問題化しています。

ポトシでは、粉塵による肺の病気も有り、寿命が45歳ぐらいだといいます。「みんな肺をやられてしまうから、大人も長生きできないんです」とロマイ

先生。「肺の病気で男性、お父さんたちが早く亡くなってしまいうから、それで子どもたちが働かなくちゃいけないというサイクルになる。子どもたちはもっと体が小さいし、弱い。それで死んでしまう子たちがいる」と説明しました。

また、標高が高く酸素が薄いため、作業中にマスクをつけるのもままならないそうです。「男の子だけじゃなく、女の子も働いている」といいます。



質疑応答

レクチャーの後の質疑応答では、なぜこのような深刻な問題が放置されているか、といった質問が出ました。

ロマイ先生は「法律がないわけじゃないのだけど、(企業などが)守らないんです。市民がムーブメントを起こしたりもしているんだけど、政府があまり認めない」と話しました。

また、技術が発達した今の時代において、機械でなく、人手に頼って採掘を続けることについても、質問が出ました。ロマイ先生は「機械は標高の低い所で使うものとして開発されている。鉱山は標高4000メートルで、機械が機能しない」などと答えました。また「採掘されるのは最初の原石の部分だから、その時点では価値も低い」ため、安価な労働力に頼りがちになるといいます。

最も大切なのは「教育」

ロマイ先生は講義を通して「教育」の大切さを強調しました。「子どもたちが新しい未来を作るためには教育が重要。ポトシの子どもたちも、日本の子どもたちと同じように夢を持っている。本当にみんな学校に行きたいのです」と訴えました。

教育は、社会の安定や所得向上の原動力です。ポリピアのような開発途上国では学校に通えない子どもが多く、識字率も低いままです。ポリピアでは、鉱山だけでなく、路上での靴磨きや露店での物売りに子どもたちが従事しています。ロマイ先生は「政治の中で子どもたちの権利が重視されていないのも問題だ」と指摘しました。

受講者の感想

メンター講義の後、受講者の皆さまから、多くの感想をいただきました。その一部を紹介します。

「身近なものに沢山の鉱物が使われていることを知っていて、私自身も川や自然を汚している当事者なんだなと思えました。私たちにっては、学校に行きたくない日があつたりするけれど、ポトシの子たちにとっては『Vacation』だと聞き、私が学校で授業を受ける

よりもポトシの子たちが授業を受けるほうが何億倍もの価値があるんだろうなと思えました。でも、それと同じくらの価値のある授業を作っていきたいと思いました。ポトシの子たちのために何かをするというプロジェクトをしたいです」(生徒)

「500年もの間、人の欲と利便性のために、人の命と自然、子どもたちの夢が犠牲になっていることに胸が苦しく、とても悲しくなりました。形は違っても、戦争や自殺など、国によって抱えている問題は、すべて共通することがあると思います。負のループから抜け出すにはどうしたらいいのか、正直とても難しいと思いますが、心が諦めてはいけなさと教えていただきました」(賛助会員)

「銀に触れない日はないくらい、私たち人間の生活には銀がたくさんあります。それで豊かな生活を送っていることに、罪悪感をおぼえました。命と引き換えに、そして、自然と引き換えに、豊かすぎる生活を送っていたのだと、現実を知ることが

できてよかったです。ポリピアの子どもたちに、夢ではなく、現実の幸せを与えたいです。地球が豊かになるよう、日本から、人間性を回復していきます」(賛助会員)

「子どもが働かなければならない、学校に行けない現状、労働環境の悪さを改善できない国の対策の問題など、考えさせられました。未来につながる子どもたちの生き生きとした姿を見たい。少しでも私たちに何ができるのかを地球市民活動として意識していきたいと思いました」(賛助会員)

日本ベンジャミン人間性英才学校の生徒たちは、メンター講義を聞き、ポリピアの子ども達に何かしたいとの想いで、ビデオメッセージを撮影したり、手紙や折り紙を届けるプロジェクトを行っています。



「銀も他の有用鉱物も、また水銀も、もともと地中であって、地中に埋まっているときは空気も汚れないし静かなのに、それを掘り起こしたりそれだけを分離させたりすることで、とても有害になることがとても不思議だなと思いました。人間が欲心で状態を変えるから、しわ寄せが起るのかなあと思いました。また、鉱山での営みに肺の病気が伴うというのは、科学的に見れば粉塵のせいですが、エネルギー的には、肺は悲しみだというのを思い出して、もしかして地球が悲しいから、人間の肺に影響が出るのかな、と思いました」(賛助会員)

イーシーオー
ECOは
5つの分野の
地球市民活動を
展開しています

人間性回復



瞑想、呼吸
ホメホメ
FUN! FUN! FUN!

健康



HBCブレイン体操
地球市民1分運動
ヘソヒーリング

自然環境



クリーンアップ
災害支援
ライトダウン

教育



学校脳教育
ベンジャミン学校
福島プロジェクト

文化・アート



地球気功
ブレインアート
コンサート

共生のチョコレート

作・はま



■ECOインスタイベント

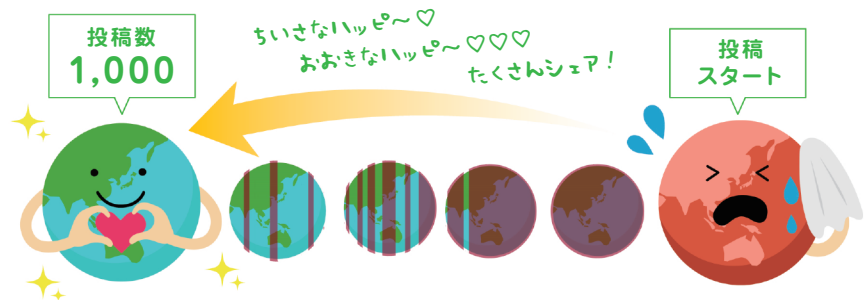
私を幸せにする
共生の瞬間大募集

ECOでは社会も地球も明るくするために、自分の幸せをたくさんの人に分かち合うインスタイベントを行っています。

投稿数をECOのインスタ(@earthcitizen_activity)で実況投稿していきます。

2つのハッシュタグを付けてあなたの「私を幸せにする共生の瞬間」をインスタグラムに投稿してください。

最初は真っ赤で苦しそうな地球が、皆さまの「私を幸せにする共生の瞬間」の投稿によって赤い部分がどんどん減っていきます。投稿数1000を目指して地球全体をGetBrightにしましょう！おひとり何回でも投稿OKです。

一般社団法人
Earth Citizens Organization

Earth Citizens Organization



YouTubeライブ配信では地球のための5分間瞑想を行っています！その他にも地球や皆さんの健康に役立つ情報を発信中！



Youtubeライブ配信やイベント情報など配信中



インスタグラムでも、コラム記事を読むことができます

米ニューメキシコ州
「地球市民の日」制定

誰もがこの地球上に住んでいるため、すべての人は地球市民である。

真の地球市民であることは、マイノリティな生活、自然な健康、そして世界の持続可能性を推進することである。(中略)

よって、ニューメキシコ州上院は、地球を癒やし、希望と共生を選択しなければならないという緊急性に対する人々の認識を高めるため、2023年2月8日を上院において「地球市民の日」と宣言する。